

ひの 議会だより

No. 141

令和6年11月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる
～町にあるモノを活かして～真崎 愛さん

9月定例会・一般会計補正予算P2～5

令和5年度決算審査P6～9

一般質問7名P10～13

風力発電計画陳情・広聴会P14～15

委員会活動報告P16～17

令和6年

第6回定例会 一般会計補正予算

1億7491万円を増額し、総額39億2852万円に

(※表示額は万円として千円以下四捨五入しています。)

主な歳入

地方交付税

1億1326万円

国庫支出金

△990万円

県支出金

61万円

財産収入

150万円

繰入金

△1億4711万円

諸収入

680万円

町債

△814万円

繰越金

2億1789万円

主な歳出

町公舎等管理

761万円

山村開発センターの備品の購入、処分費。

(大集会室の机とイス。及び、二階研修室のイスなど。)

支え愛の地域づくり総合支援事業

125万円

自治会の消防防災を強化するため従来の補助金を見直し、新たに「消防防災環境整備総合支援補助金」を創設する。

防災体制の整備や集会所を仮避難所として活用する

場合に必要な環境整備にかかる費用の一部を助成する。

住宅等消防防災補助

24万円

①住宅等に感震ブレイカーを設置する費用の3分の2(最大4万円)を助成する。

②住宅に火災報知機を設置する費用の2分の1(上限3千円/台)を助成する。
*1世帯2台まで

日野町リノベーションLa
運営 150万円

調理設備や合宿設備の運用に必要な備品の購入。運動教室や成果発表に係る費用。

宅配ボックス設置推進事業

10万円

住宅に置き配ボックスを設置する費用の2分の1(上限1万円)を助成する。



置き配ボックス

障がい者総合支援

644万円

医療的ケアを要する重度障がい者の地域生活推進事業補助金、障がい者就労促進支援事業交通費助成など。

道路維持一般管理

1188万円

町道黒坂停車場線道路の修繕工事。町道根雨三谷線道路の修繕工事。町道下黒坂線道路の拡張工事。



積雪監視カメラ

除雪対策

506万円

新たに積雪監視カメラ5台を増設し、町内8カ所で積雪の実態把握をリモートで実施する。(前年は3台設置)

設置場所は、下榎、小原、上菅、野田、久住、黒坂、畑、秋縄。

また、リースの除雪ドザー4台車1台増加するなど除雪体制を整える。



町内防災マップ



畜産振興 3344万円

建築から43年が経過している下榎畜産団地の老朽化が激しく、隣接する町道の通行に危険が生じる恐れがあるため解体撤去する。



老朽化した畜産団地

オシドリ観察小屋管理 308万円

オシドリ駐車場に設置している簡易トイレ（和式）が老朽化しているため、既存トイレを撤去し、男女別簡易トイレ（洋式）を設置する。



オシドリ観察小屋

一般管理（ひのっこ保育所） 400万円

調理室にある冷蔵庫と食器洗浄機の入替え工事を行う。またインターネット通信環境を改善する。

義務教育学校一般管理 209万円

学校から児童生徒の安全対策等の要望があった箇所の整備をする。

・校内の一部にプライバシー確保が必要な場所があり、目隠しカーテンを設置する。（6ヶ所）

・新校舎壁の一部に展示物が掛けられるようにする。

・体育館裏の通学バスの停車場に照明器具を設置する。（2ヶ所）

・昇降口棟に根雪止めを設置する。

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計 補正額 39万円

歳入

一般会計繰入金 8万円

財政調整基金繰入金 △323万円

前年度歳計剰余金繰越金 355万円

歳出

資格確認書購入及び封筒作成 8万円

国民健康保険財政調整基金積立金 21万円

過年度保険税還付金 10万円

介護保険特別会計補正額 3719万円

主な歳入

介護給付費準備基金繰入金 △1144万円

前年度歳計剰余金繰越金 4855万円

主な歳出

国・県等返還金 1875万円

介護給付費準備基金積立金 1836万円

令和5年度における、発生した剰余金から過年度返済金を差し引いた額を介護給付費準備基金への積立金として計上する。

後期高齢者医療保険特別会計補正額

歳入 17万円

前年度歳計剰余金繰越金 17万円

歳出

後期高齢者医療広域連合納付金 17万円

その他議案の主なもの

日野町世帯向け住宅建設事業に係る事業契約の締結

1億8183万円

建設場所

日野町野田245番3他

契約期間

令和8年3月25日

契約の相手方

大和ハウス工業株式会社

中国支社



住宅完成イメージ図



日野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

内閣府令の施行に伴い、保育士・保育従事者の配置基準を見直すもの。

・満3歳児から満4歳に満たない児童

概ね20人につき1人

概ね15人につき1人

・満4歳児以上の児童

概ね30人につき1人

概ね25人につき1人



ひのっこ保育所

国民健康保険条例の一部改正

令和6年12月2日から

被保険者証が廃止されることに伴い、国民健康保険条例の罰則内容について改正するもの。

反対討論

国は、任意取得であるマイナンバーカードを所持しない市民の為に、資格認証を交付するとしているが、この処置は健康保険証を残せば不要なものである。

人事案件

日野町教育長の任命

安達 才智 氏

(令和6年9月27日)

令和9年9月26日までの

3年間

人権擁護委員候補者の推薦

柴田 英樹 氏

(令和7年1月1日)

令和9年12月31日まで

の3年間

陳情・請願

○健康保険証の廃止をしないよう求める請願書

教育民生常任委員会へ付託

令和6年8月26日受理

提出者

米子民主商工会

会長 植田 均

米子医療生活協同組合

理事長 梶野 大

審査結果

不採択

質疑

議員 委員会では不採択に至るまでに、どんな内容の協議で審議がなされたのか、その経緯について伺います。

委員長 マイナンバーカードのシステム上のトラブルが多発し、安全面を指摘する声が多く出ています。

という意見がありましたし、保険証の廃止が目前に迫っている中で提出し

でも遅いのではないかと
の意見もありました。

趣旨採択の意見についても、誤った情報の紐づけや一部の方々に支障をきたす恐れがあるという点は理解しているが、町内の82軒の方が既にマイナンバーカードを所有している現状もあり、今から施策をひっくり返す事は難しいのではないかと
言う結論に至り、不採択としました。

反対討論

任意であるマイナンバーカードに資格該当なしと表示される問題や他人の医療情報が誤って紐づけされる事例などが相次いで起こっている。医療現場でも健康保険証が廃止されることについて不安の声が上がっている。
健康保険証廃止は突然に出てきたものであり、町民の理解を得られるものではない。

○「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定を求める意見書提出の陳情

総務経済常任委員会へ付託

令和6年8月26日受理

提出者

佐々木 求 氏

審査結果

継続審査



採 決 表

議 案	件 名	小林良泰	小河久人	坪倉敏	中山法貴	梅林智子	金川守仁	松本利秋	安達幸博	竹永明文	採 決
第52号	日野町世帯向け住宅建設事業に係る事業契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第53号	行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第54号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第55号	国民健康保険条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
第56号	水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術監理者の資格基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第57号	令和6年度日野町一般会計補正予算(第3号)	×	×	○	○	×	○	○	×	○	可決
第58号	令和6年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
第59号	令和6年度日野町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第60号	令和6年度日野町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第61号	令和5年度日野町一般会計歳入歳出決算認定	×	×	○	○	○	○	○	×	×	承認
第62号	令和5年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第63号	令和5年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第64号	令和5年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第65号	令和5年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第66号	令和5年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第67号	令和5年度日野町公共下水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第68号	日野町教育長の任命について	投票結果 賛成7票 反対2票									同意
	人事擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求める	投票結果 賛成9票 反対0票									同意

第5回臨時会

8月9日開催

議案

・建設工事請負契約の締結
日野学園グラウンド改修工事の契約金額が5796万円と5千万円を超えるため議会の議決を要するもの

(原案可決)

・財産(動産)の取得
「チャンネルひの」放送関連機材の購入金額が1954万円と700万円を超えるため議会の議決を要するもの

(原案可決)



令和5年度決算審査

認定すべきと決定

13事業を指摘する

議会は、法に基づいて①予算の適正執行や行政効果を測定。また、後年度の予算編成や行政執行に生かすために、9月議会で決算審査特別委員会を設置(議長と議会選出の監査委員を除く8人で構成)。

令和5年度全ての会計について、町長及び各担当課より説明、資料の提出を求め6日間にわたって審査した。

審査事件

令和5年度一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算(①国民健康保険②介護保険③後期高齢者医療保険④簡易水道⑤公共下水道事業⑥農業集落排水事業)

審査結果

賛成多数で認定すべきものと決定した。

一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の係数は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

一般会計

決算では、翌年度へ繰り越すべき財源37万1000円を除いた実質収支が2億1789万3円の黒字となっている。

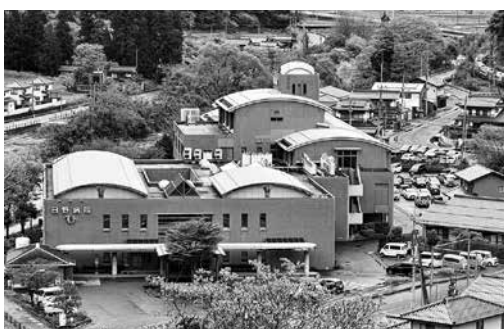
歳入

調定額41億2728万1200円に対し、収入済額40億5466万2020円で、収納率は98・24%である。

全体で見ると滞納者数、滞納額とも減少しており徴収努力は評価できる。しかしながら固定資産税、住宅新築資金等貸付金、災害援

歳出

決算では、予算現額41億6057万2000円に対し、支出済額は38億3640万1017円。翌年度繰越額8663万5000円で翌年度繰越額を予算現額から除いた執行率は94・17%であった。



病院事業負担金(日野病院)

護資金貸付金については引き続き未納額は多額である。今後町長以下職員が丸となって、未納者個々の実態把握と新規滞納者が出ないよう早めの納付勧奨を行い、未納額の徴収に努められたい。

反対討論

○少子化対策事業として、出産・子育て応援交付金、子ども家庭支援事業、児童手当事業など経済的負担軽減は評価するが、ふるさと教育推進事業の、地域おこし協力隊の一人体制、同和対策事業などで令和5年度日野町決算認定に反対します。

○日野町交流センター施設「リバーサイドひろの」は県内外からの交流施設で、年間1200万円の委託料が支払われている。宿泊、レストランなどの運営に対し住民から苦情が出ているが一向に改善されていないので反対します。

○例年に比べ指摘事項が多い。主な項目では、①収入未済額及び相続放棄の対応について②自治会文書配布について





生活交通確保対策事業（タクシー）

歳出額の多い事業としては、西部広域行政管理組合負担金、生活交通確保対策事業、日野病院組合病院事業負担金、塵芥処理事業、くらし応援商品券事業、義務教育学校建設事業、町債償還などが挙げられる。不用額は2億3753万5983円で翌年度へ繰り越すべき財源を除いても多額であり、引き続き予算の査定段階から十分精査されたい。

また、事業実施に当たっては、補助金等財源の確保に努めるとともに、基金等

を活用した積極的な事業実施に努められたい。

財産

財産に関する調書は正確と認められる。

しかし、基金総額は年々増加しており、基金の活用についても検討されたい。

また、近年活用実績もななく積み立てもされていない地域福祉基金、地域振興基金、建設機械整備基金は、基金の目的を再度検証し必要に応じて処理されたい。

特別会計

①国民健康保健特別会計

決算での実質収支は354万5646円で黒字となっている。

歳入

歳入の状況は、調定額3億6675万9013円に対し、収入済額は3億4820万7039円、収入未済額は1839万3394

円、収納率は94・94割となっている。

国民健康保険税の滞納者は減少しているものの収入未済額が多額であるので、徴収について努力されたい。



健康づくり百歳体操

歳出

歳出の状況は、支出済額3億4466万1393円、不用額6554万9607円で、執行率は84・02割となっている。

今後も健康管理に対する意識の高揚と検診受診の普及、フレイル予防の施策推進に努められたい。

また、国民健康保険財政調整基金について、県下の保険事業統一を見据えた効果的な運営に努められたい。

②介護保険特別会計

決算での実質収支は4855万1496円で黒字となっている。

歳入

歳入の状況は、調定額6億2500万2493円に対し、収入済額も同額で収納率は100割となっており評価できる。引き続き早期の徴収に努められたい。

歳出

歳出の状況は、支出済額5億7645万997円、不用額1億4001万7003円で、執行率は80・46割となっている。

給付費の動向で不用額が発生するのは致し方ないが留意されたい。

いきいき百歳体操など介護予防の取り組みを推進するとともに給付費の抑制を図られたい。また、介護給付費準備基金の現在高は、年々増加しているので考慮されたい。

③基金活用について
④移動販売事業についてなど13項目指摘されている。よって決算認定に反対します。

賛成討論

○本会議において代表監査委員より、決算審査意見書が出され正確であると認められた。基金も積み増しされ、年間予算に匹敵する残高になってきた。5年度事業は物価高騰負担増に対する給付金や、フレイルチェックなど高齢化に即応した福祉対策が取られているので賛成します。

○5年度予算はコロナ終息後の対応として編成され、リノवेशヨンプラの取り組みなど成果が出ている。財政健全化比率も良好であり5年度日野町決算認定に賛成します。



③後期高齢者医療保険 特別会計

決算での実質収支は16万6100円で黒字となっている。

歳入

歳入の状況は、調定額5789万9628円に対し、収入済額も同額で、収納率は100%となっており評価できる。

歳出

歳出の状況は、支出済額5773万3528円、不用額52万3472円で、執行率99・10%となっている。

引き続き適正な事務処理に努められたい。

④簡易水道特別会計

決算での実質収支は、令和6年4月に公営企業会計へ移行し出納整理期間を持たなかったことから、必要となる見込み額を一般会計から繰り入れしており104万6650円の黒字となっている。



黒坂簡易水道配水施設（中菅）

っている。

歳入

歳入の状況は、調定額7818万9420円、収入済額7371万7950円、収納率94・28%となっている。

徴収状況は昨年並みであると見受けられる。

歳出

歳出の状況は、支出済額7267万1300円、不用額564万2700円で、執行率は92・79%となっている。

今後も生活環境の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

⑤公共下水道事業特別会計

決算での実質収支は、令和6年4月に公営企業会計へ移行し出納整理期間を持たなかったことから、必要となる見込み額を一般会計から繰り入れしており32万5665円の黒字となっている。

歳入

歳入の状況は、調定額9456万9542円、収入済額9160万6722円、収納率96・87%となっている。

徴収状況は昨年並みであると見受けられる。

歳出

歳出の状況は、支出済額9128万1057円、不用額351万943円、執行率96・30%となっている。

今後も生活環境の向上を図るため、加入促進と適正な

維持管理に努められたい。

⑥農業集落排水事業 特別会計

決算での実質収支は、令和6年4月に公営企業会計へ移行し出納整理期間を持たなかったことから、必要となる見込み額を一般会計から繰り入れしており86万6845円の黒字となっている。

歳入

歳入の状況は、調定額4157万5732円、収入済額4032万4962円、収納率96・99%となっている。

徴収状況は昨年同様であると見受けられる。

歳出

歳出の状況は、支出済額3945万8117円、不用額380万9883円で、執行率91・19%となっている。

今後も生活環境の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

財政健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率は、いずれの会計も実質収支が黒字となっているため問題はない。

将来負担比率は、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となっており問題はない。

実質公債費比率は、早期健全化基準の25・0%を下回る8・4%となっている。しかし、地方交付税に依存している本町は、国内情勢により大きく左右されるため、より一層の創意工夫と危機感をもって予算執行に当たられたい。

また、過疎債を中心とした起債の借入れが年々増加している。実質公債費比率等にも影響してくるので、基金の活用も視野に入れ、借入については十分検討されたい。



講評

指摘事項

③基金の活用

(総務課)

財政調整基金をはじめとする基金残高が年々増加している。理由としては地方交付税の過少の当初予算計上と、決算時における剰余金为主に考えられる。

①収入未済額及び相続放棄の対応

(住民課・建設水道課)

住宅新築資金等貸付金をはじめ、災害援護資金、固定資産税、国民健康保険税など滞納額、滞納者は減少しており徴収努力は認められる。

しかしながら、未収金は依然多額であるので引き続き徴収に努められたい。徴収困難とされている債権の処分について、町の方針を定め整理に努められたい。

②自治会文書配布

(総務課)

高齢化などにより、自治会内で文書配布ができない自治会が出てきている。

自治会への文書の配布方法について検討されたい。

いくことから、返済が滞ることのないよう事業者と連携を密にされたい。

⑥しいたん広場の運用

(企画政策課)

当初の予算説明とは異なった事業展開がなされているように見受けられる。

令和5年度は、町内の利用者より町外の利用者が多く、成果があつたことは認められるが、改めて設置目的を明確にされたい。

⑦フレイル対策

(健康福祉課)

健康寿命を延ばし医療費抑制を進める観点から、町民が自分の都合や状況に合った運動ができるような施設を、旧黒坂小学校や旧日野中学校などに設置できないか検討されたい。

⑧除雪事業

(建設水道課)

降雪状況の監視用力メラが有効に活用されているので、設置台数の増設を検討されたい。

また、地域住民と連携した除雪体制の推進を図られたい。

⑨交流促進施設管理

(産業振興課)

日野町交流センター「リバーサイドひの」の目的は、県内外の交流拠点はもちろん、地域住民の福祉の推進を図る施設である。

しかしながら、令和5年4月1日から開館する予定であつたものが遅れただけでなく、利用者から送迎、接客・サービスなどについての苦情も聞く。

設置目的に沿った地域住民のための施設となるよう指導されたい。

⑩特産品支援事業

(産業振興課)

特産品のインターネット販売については、費用対効果が出ていないように見受けられる。商品の開発、商品構成も含め、仕組みを構築し特産品振興に努められたい。

また、まめなか屋の運営について、地元の生産者、出品者の協力体制を拡充されたい。

⑪畜産堆肥活用推進事業

(産業振興課)

畜産堆肥は農家からは好評であり、需要に応えられる体制を構築されたい。

併せて、がんばる地域プランの終了が近づいている。これまで行ってきた農業施策が補助事業終了後も引き続き継続できるよう検討されたい。

⑫アウトドア・アクティビティ推進事業

(産業振興課)

鵜の池キャンプ場の利用が減少してきており、委託料の費用対効果が見えてこない。管理運営について検討されたい。

⑬文化財保護活用計画

(教育委員会)

文化財保護活用計画が策定されているが、計画に基づいた取り組みがなされていない。事業のスピードアップを図られたい。

◇指摘事項については、12月議会定例会までに改善策を議会に報告すること。



日野町議会 9月定例会

一般質問テーマ

安達 幸博 本町の不登校児童・生徒について尋ねます

坪倉 敏 再生可能エネルギーの取り組みと地域活性化の在り方

松本 利秋 わが町の活性化に対すPRの在り方と町の遊休施設をどのように考えるか

金川 守仁 きらり日野町創生戦略の次への一手と今後のマイナンバーカード対応

小林 良泰 スマートフォン等を用いた情報発信と利用促進

梅林 智子 新型コロナワクチン接種の推進と、介護や入院患者家族への対応

小河 久人 特産物ブランド化加工品への取り組み、学生支援にかかわる現在の実態

・・・・・・ご案内・・・・・・

チャンネルひので、議会中継がご覧いただけます。
議員名下のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、
各議員の一般質問動画が視聴できます。



安達 幸博議員

しいたん広場の活用を



議員 不登校児童生徒の居場所づくりと支援の考えをお聞きます。

教育長 児童生徒の個々のニーズに応じた受皿を整備したり、保護者が悩みを抱えて孤立せず、適切な情報や支援を得られるように、相談できる体制を整えることが重要だと思います。現在不登校生は複数名います。町内には不登校児童生徒の自立支援を行う施設はございません。

議員 不登校生の居場所として教育支援センターがあります。本町に設置の考えを伺います。

教育長 そこだつたら学習ができると思う児童生徒、あるいは保護者があるのであれば、前向きに設置について考えたいと思います。

テストのような形で学校外の場所を設けて、実際にやってみるということ、すぐ可能なのかなと思っております。

議員 大変前向きな回答をいただきました。他町では公民館である

とか、図書館の一角を借りて、教育支援センターが開設されていると聞きます。そういう意味からいいますと、日野中学校跡が今、しいたん広場になっておりますが、ここは土、日に使用されています。月曜日から金曜日は空いています。ここでの利用も一つの考え方と思います。企画課長に聞きます。このような活用はできますか。



旧日野中学校にオープンした「しいたん広場」



水力発電と風力発電

議員 日野町には金持、畑、上菅、根妻に発電所があります。水力発電事業が農業用水路の維持管理の一翼を担うのであれば、水力発電の町としてアピールしていくべきでは。

町長 水力発電が4つもあるのはすごいと思う。根雨発電所竣工式で発電機がコンパクトになったと感じた。提案の農業用水路ですが、町内に適地があるかどうか業者に話を聞きたい。

議員 風力発電事業に対し準備書が出る前に町として意志表示はありませんか。

町長 平成30年の方法書の意見で、大気、水環境、風車の影、動植物、景観、文化財など専門家の調査をと伝えている。そうした意見を踏まえた準備書になると思う。冬頃に予定されている準備書の公表を待つて意見を伝えたい。



坪倉 敏議員



再稼働した根雨発電所水路見学会

議員 町に対して風力発電反対の陳情ができました。議会にも陳情が出て公聴会を開きます。町長は議会決議を尊重されますか。

町長 事業者にお願ひしている環境影響評価の宿題をどう解決するのか、そこを確かめる情報開示が必要です。

地域かわり隊について

議員 納涼祭は町職員に手伝って頂き助かりました。米子市では職員が地域の行事などを応援する制度があります。日野町も検討しませんか。

町長 有給休暇もあり、特別なボランティア休暇制度は町役場には馴染まないのでは。

町の活性化とPR

議員 町の活性化策の一つは、町外者を呼び込むこと。その足掛かりはまず、町をPR（宣伝）することであると考えます。

今年は、鳥取県でねりんピックが開催。そして来年の秋からNHK朝のドラマで、小泉八雲の妻（セツ）がモデルで「ばけばけ」が放映されるようです。

セツが夫に話したと言われる滝山公園にある龍王滝。小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の小説「骨董」で幽霊滝として紹介されています。テレビで紹介されるかわかりませんが、関連で本町を全国に紹介する絶好のチャンスです。PRの取組みを伺います。

町長 ねりんピックでは、全国から日野町にお越しになることからPRの絶好の機会と捉えています。パンフレットやオシドリ小屋の開館などを始めとして、温かく



松本 利秋議員



お迎えしたいと思っています。

また、日野町では議員がおつしやられたとおり、滝山公園内の龍王滝が「幽霊滝の伝説」の舞台となっており、八雲ゆかりの地としてPRしてきたところです。

これを契機に滝山公園、並びに龍王滝を更にPR出来ればと考えます。まずは、情報収集に努めたいと思います。

議員 町の有休施設（旧山陰合同銀行、旧小・中学校）の活用計画実施までの間、放置しておくのはもったいなく、有効活用される考えはありませんか。

町長 旧山陰合同銀行は、国登録有形文化財に登録し、活用計画は今のところございません。

また、旧小・中学校施設は、サテライトオフィスなど活用の公募中であり、使用出来ません。中学校施設は、要綱に沿ってお貸しできる部屋もあるうかと思っています。



凍り付く龍王滝





金川 守仁議員



きらり日野町創生戦略

議員 わが町の過疎化の原因は何かと考えられますか。

町長 従来から続く都市部へ人口流出に加え、国全体の人口減少が拍車をかけていることではないかと考えます。

課長 具体的には2年遅れくらいで初期の減少の推計に近づいて人口の減少は当初思っていたよりも緩やかになっていると思います。

議員 日野町は、子育てから高齢者までがしっかりと機能しています。生活支援の買い物サポートは新たな事業展開で拡大を図りながらステップアップされました。

次のわが町の課題である「働く場の確保」について伺います。

町長 農林業などと一次産業、資源農産特産品づくりに変化させる、サテライトオフィス「リノベーションLab」を有地することなど観光産業で若い方の感性を生かす仕事場づくりを拡大し「第三

次のきらり」に位置づけたいと考えております。

マイナンバーカード対応

議員 12月2日以降は紙での健康保険証の発行が廃止されます。所有していない人などへは丁寧な説明と対応が必要だとおもいますが今後の対応については。

住民課長 マイナンバーカードを取得していない人、健康保険証として利用登録されていない方には、住民課から申請なしでお送りいたします。今後国の方針など変わる可能性はあります。手続については丁寧に進めさせていただきます。また、「広報ひの」や「チャネルひの」などのツールを活用しながら広報してまいります。



創生戦略・次につながる取り組みの有効活用「Labの有効活用」に期待



小林 良泰議員



日野町アプリの運用状況は

議員 アプリの登録利用者数は。
町長 情報伝達アプリであるライフビジョンの登録者は308名、フレイル対策アプリは183名の登録者です。

議員 現状の利用者数をどう評価しているのか。

町長 2600人強の人口の中の300余り、まだ少ないかもしれませんが、着実に進んでいるなと感じています。

議員 「チャネルひの」でアプリに関する放送をしてはどうか。

町長 操作や利用例を観て、「なるほどね」と感じられます。非常に良い方法なので取り入れてみたいと思います。

議員 夜の防災無線の内容を文字や音声で確認できる様な形には出来ないのか。

課長 技術的には可能です。ただ必ずしも毎日の放送が全住民を対象にしたものとは限らないので流

すことは良いが、あまり情報過多になると少し煩わしさも感じられるのではないかとという事で、現在行っています。

スマホ購入支援の要件拡充は

議員 毎年予算に対して、実績が少ない点をどう評価しているか。

課長 周知が十分でない部分もあるかもしれませんが、中々スマートフォンを購入に踏み切れない方もおられると思います。便利さを伝える点においては徐々に知っていただけているかと思っています。

議員 近年の端末代金の値上がりや初期費用も考慮して補助額を増やす考えはないか。

課長 基本的には皆さん平等な金額を補助するという形で、当面は進めて行きたいと考えています。



便利さの追求と普及のための広報強化が不可欠



新型コロナウイルス秋接種について

議員 秋接種についてご説明下さい。

町長 これまでと異なり、西部9市町村と西部医師会が契約し、ワクチンを取り扱ってれば、どこでも接種可能です。医療機関に申し込んで下さい。

議員 ワクチンの特徴は？

町長 承認済みワクチンは、ファイザー社のコミナティmRNAワクチンです。ウイルスのタンパク質をつくる遺伝情報の一部を入れたもので接種すると抗体として次々スパイク蛋白が作られます。

承認申請中のワクチンもあり、次々承認される様ですが、主に筋肉注射です。

議員 推奨しますか？

町長 任意接種者が、安心安全に受けられる体制構築を行います。

議員 予防接種健康被害が十分に周知されていないのではないかと？



梅林 智子議員



新型コロナウイルス接種案内

町長 丁寧な周知に努めます。

議員 ワクチンは決まりましたか。

町長 決まっています。

議員 副反応は、免疫力低下で起こる実には様々な症状が出現します。たとえば、心筋炎・心筋症ギランバレー症候群などが報告されています。免疫力を高める生活に努めるべきと考えます。

町長 既に秋開始用に承認されているファイザー社のコミナティはRNAワクチンです。

特産物の振興について

議員 特産振興をどのように広報していくつもりですか。

町長 関係者と意見交換し、市場のリサーチをしていく。

議員 加工した食品を作り、特産化するには加工所が必要と思うが、そのような施設を造ることは考えられませんか。

町長 新たに加工所を整備するよりも今ある既存のものを活用いただいた方が合理的であると考えております。

児童生徒支援について

議員 今後、公設塾はどのような方針で運営されていきますか。

教育長 日野町の高校生、日野学園を卒業した子供たちに利用していただきたい。日野町をしつかり知っていただいてふるさと教育を行うということと日野町と関わり



小河 久人議員



日野高校生が登下校する時間帯が限られる

伯備線 標準時刻 Hakubi Line Timetable		仮雨	
新見・岡山 方面 for Niimi, Okayama		米子・松江 方面 for Yonago, Matsue	
5	52*	5	48*
6	53*	6	30*
7	19*	7	20*
8	53*	8	20*
9	6	9	7
10	7	10	24*
11	19*	11	36*
12	35*	12	28*
13	11*	13	46*
14	40*	14	31*
15	11*	15	10*
16	11*	16	10*
17	11*	17	10*
18	11*	18	10*
19	11*	19	10*
20	11*	20	10*
21	11*	21	10*
22	11*	22	10*
23	11*	23	10*
24	11*	24	10*
25	11*	25	10*
26	11*	26	10*
27	11*	27	10*
28	11*	28	10*
29	11*	29	10*
30	11*	30	10*

を持つていただけたらありがたいなと言う風に考えております。

議員 JRの8時台と16時台は2本あるんですが、3本にして、5時台と20時台を新設して欲しいという要望がありました。JRに要望して欲しいのですが、どうでしょうか。

町長 具体的なお話があるのであればぜひ聞かせてください。うふうなお話もしてるところであります。



風力発電計画の反対陳情3件

議会は、再生可能エネルギー調査特別委員会を設置して審議

5月31日、風力発電計画に反対する陳情3件（町内在住者2人、町外在住者1人）が提出されました。議会はこれを受けて、再生可能エネルギー調査特別委員会を6月議会で設置し、審議しています。

8月5日には提出された方をお招きして、お話を伺い、9月20日には、「公聴会」を開催。6名の方から反対、賛成それぞれのご意見を伺いました。また、業者から説明を聞くことにしています。

反対陳情へAさんへ

今回の風力発電計画は、我々の生活環境をことごとく破壊する不安、懸念が拭えない計画であり、反対します。

先祖から受け継いだ山河のもとで農業。米作りは、清い水が豊富だからこそ出来ます。境港の漁港もまた、山のミネラル広葉樹林があつてこそ、その豊かさを保っていることは自明の理です。

反対陳情へBさんへ

①オシドリたちの保護、公害、土砂災害等々大きな不

安を抱えています。

野鳥観察の聖地を何としても未来永劫一羽も減らすことなく、守らなくてはならないと切望します。

②花崗岩質の崩れやすい法面を切り開き、大幅な道路を造る計画と聞いています。

表土をはぎ取られた真砂土の上には根を張れる植物は育ちません。

水田に水を引けなくなることも。工事により地元の井戸水にも影響が出ない保証は全くありません。

③この工事は山頂の尾根部分を取り取って80坪四方の枠をつくり、その上に高さ150坪の風車を設置するとのこと。

切土、残土は持ち出されない決まりとなっているので、谷に埋めると説明されていますが、この土砂が豪雨災害によって、土石流となつて山裾の人家を襲い、人命を危険にさらさないという保証がありません。

④風車には風切り音という騒音と、羽が回ることに由る光のちらつきによる影響。さらに超低周波による不眠、不快感、頭痛等が続くことによる睡眠障害があります。

これらの騒音被害は、北海道大学の教授が開発された騒音の広がり予想するソフトで調査したところによると日野高校、日野学園、日野病院の患者が睡眠障害で体調をさらに崩される事態も想定でき、静寂が保たれた安らかな睡眠が無ければ回復を望めません。

山陰両県においても風力発電による健康被害がすでに報告されています。

⑤地域の地権者にとつても「地上権設定契約」を交わしているために、天災で起

こつた不具合であっても地権者のみが責任を負う契約となつています。

地域経済の活性化に寄与しないため反対します。

反対陳情へCさんへ

景観や自然破壊、希少な鳥への悪影響、騒音や低周波音による健康被害、土砂災害の危険性など、住民の不安や懸念がぬぐえません。

大規模な作業道、基礎や杭を施工すれば自然環境の致命的な破壊は完成する。わずかな耐用年数17年の風車のために。

風車が建設されれば、オシドリが飛来しなくなる可能性が大きい。これまでオシドリを大切に守ってきた日野町民の気持ちを分かってもらいたい。

どうかこの計画を取りやめていただきますようお願い申し上げます。



広聴会

9月20日

当日申し込みいただいた6名の町民の方々に発言いただきました。発言の要旨は次の通りです。

反対へDさん

移住してきて6年になります。日野の自然に惹かれています。

地権者の方は土砂災害な

どが起れば地上権設定契約によって全責任を負わされます。理不尽な契約で事業者が風車を転売しても、止める権利はありません。

ドクターヘリは高度150㍎を飛行していますが、建設されたら飛行に支障は出ないと言えるでしょうか？

賛成へEさん

産業の少ない日野町にとって、地域貢献になる事業。取り付け道路の除雪作業も冬の収入になります。

青森県では国有林に風車を建て発電しています。山から収入を得られにくい現在、温室効果ガス削減に役立つ事業だと考えます。

反対へFさん

風力発電は野鳥を多く傷つけています。日野町の豊かな自然を守って子や孫に手渡すのは、我々大人の責任だと考えます。予定地と聞いている場所は、水害などが予想される地域が多含まれています。

病を抱えた方々は、騒音や超低周波などで苦しむことになっても、誰も補償してくれません。

安心して暮らしたいから、反対します。

反対へGさん

健康被害が心配なので反対です。移住者にとってこの地の魅力は、いい空気を吸っていただけること。それは森が豊かであってこそ叶うことです。

町外からも沢山のお客さんがおしどりに会いに来て下さいます。大切な観光資源を無視するような風力発電事業は、反対です。

反対へHさん

日野川左岸の山の上に建てられたら、標高400㍎の山の上に150㍎の風車に乗る事に。この圧迫感は耐えがたいものです。

景観が悪いだけで無く、健康被害・土砂災害も懸念される。米作りにも印象が悪くなるから、風評被害が出る可能性もある。ヒメボ

タルや希少なカエルたちも守って行きたい。

全国で環境被害に対する訴訟が起こっています。立証責任は告訴する側が担うことになるが、様々な被害を受けて泣き寝入りするような事態は、絶対に嫌です。既存の水力発電所を積極的に利用することを望みます。

反対へIさん

体調を崩して、いい空気のところに行きたいと思い移住してきたのですが、少しずつ症状が軽快してきて、今は元気に暮らせています。

もし風車が建てられたら、騒音や超低周波という耳には聞こえないような体中に響くような音で、睡眠障害がおけると言います。健康被害が出たら、私には立証して損害賠償裁判を戦うなどとても出来ないことです。

日野町は、誰一人苦しみに追いやらないような、優しい町でいて欲しいです。



多数の方々のご参加ありがとうございました（広聴会9月20日）



常任委員会活動報告

総務経済常任委員会

徳島県上勝町、日亜化学工業株式会社を視察

上勝町は、人口1353人、717世帯の県内最少人口の中山間地。高齢者率53%の町が取り組む行政と議会の現状を調査する為に10月7日から8日、いろいろ事業、ゼロ・ウェイストの取り組みについて視察に伺いました。



視察先のスタッフより説明を受ける

営農職員だった横石知二氏（現株式会社いろどり代表取締役）の発案により「葉っぱビジネス」いわゆるつまものの生産販売を展開されました。

日頃の生産管理や品質の徹底は大変だが、農作物の栽培に比べれば作業が手軽で出荷品も軽量なので、各々が独立した個人事業主として、50代から90代後半までの145名の農家（主に女性）がPCやタブレットを駆使して、毎日の注文取りから出荷までを行って

国内の販売シェアも60%

40年ほど前までは、林業とミカン栽培が主要な産業だったそうです。ある出来事をきっかけに当時JAの

を占め、収入増によってやりがいの創出と心身ともに健康でいられる事で、町民の保険医療費の低減にも繋がっているのだそうです。ただ良い面だけではなく、過疎化が進んで高齢化と担い手不足の問題は大きな課題と挙げられていました。



ゴミはセンターに持ち込まれる

ゼロ・ウェイストの推進

27年前まで捨てたゴミは野焼きが行われており、その後導入した焼却炉の耐用年数を迎え、他

県へ委託する焼却費用も嵩んできたことから、全国に先駆けてゴミの分別化と再資源化に向けたゼロ・ウェイストの取り組みを始められました。現在では82%の再資源化によっておよそ184万円の現金化に成功されたそうです。

町民は町の中心に位置する一か所の分別センターへ持ち込む必要がありますが、年始以外はいつでも捨てられる事と、持ち込みが困難な高齢者などは担当職員が定期的に



檜原の棚田



ゼロ・ウェイストセンター全景。「WHY」のコンセプトで「？」のマークを型取っている

収集に向く体制を整えておられました。

おわりに、上勝町は棚田百選の棚田を含め「日本でもなお美しい村連合」に登録されている活動」としても各方面から注目を受けています。



世界に誇る 「日亜化学工業株式会社」 本社を訪問

日亜化学工業は、20世紀中には困難と言われていた高輝度の青色発光ダイオードを1993年11月に製品化するなど、同分野の技術開発は大きく進展した。

2024年1月には、映画界に貢献した重要な技術を生み出した企業・技術者に対して授与される米アカデミー科学技術賞（技術成果賞）を青色・緑色レーザー光源の開発に携わった社員5名が受賞。

とある日の新聞記事に、こちらの会社で長尾陽二氏（日野町出身）が技術者として活躍されていることを知り、本社のある徳島県阿南市へ表敬に伺いました。世界的な企業だと存じ上

げていたとはいえ、我々の表敬が恐縮に感じる程の大大で立派な社屋でした。

当日は広報担当の方から会社の概要とショールームの見学を、また、半導体レーザー開発部で活躍されている長尾さん本人から受賞に至るまでの経緯と日頃の研究開発内容について説明を受けました。

とても爽やかな好青年に更なる活躍を期待しています。



本社屋玄関前

議会改革特別委員会

町村議会等なり手不足
対策の推進に関する決
議について

全国市町村会議議長会において町村議会の議員報酬の適正化を促進する為の決議が行われました。これを受け各全国の議会に対して同様な決議を行うよう求められており、その内容について協議をしました。

決議概要

- ① 議会議員のなり手不足対策の推進に関する決議
- ② 議員報酬の適正化を促進する為の決議
- ③ 議会・議員の豊富化、議員報酬の適正化に関する決議

意見

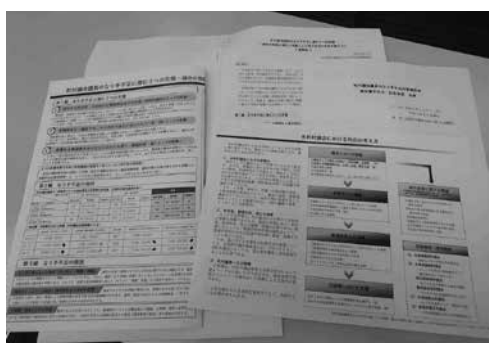
議員報酬のあり方 町村議会議員の報酬が低いことで、議会活動を行うことに多くの課題が生じているが、議員報酬を上げることについては、住民、マスクミ等から厳しい批判がある。

議員報酬の検討に際しては住民の理解が必要だが、議会を活性化させるにしても報酬や予算が少なく、活動が沈滞することで報酬への批判が高まるという「負のスパイラル」がある。これを脱し、二元的代表制の下では、首長と競い合う議会の力量を拡大せねばならず、そのためには議員報酬や必要な予算を確保としていく必要がある。

まとめ

議員報酬を住民による行政監視を行う専門職ととらえ、子育て世代の若者が安心して職務に専念できる報酬額が確保されるよう、予算措置に配慮すること。

日野町議会としては、鳥取県町村議会議長に各議員から出された意見をまとめて令和7年2月に開催される県議会に提出することとしました。



町村議会なりて不足対策検討会



取材記事
シリーズ!

第15回 日野に生きる

～町にあるモノを活かして～
真崎 愛さん (上菅)

布切れなども再活用

令和5年5月1日から2
回目の日野町地域おこし協
力隊として活躍する真崎愛
さん。

再度日野町を選んだ理由
の一つが人間関係の温かさ
です。「挑戦を後押しして
くれ、多くの人に助けられ
た」と言います。

活動拠点の中心は、上菅
地区で食品加工を行ってい
る菅福元気邑です。

そして、自分自身で空き
屋を活用したアトリエ
「アミババ」での竹細工や
黒坂小学校跡地（リノベ－
ションLab）で、廃材を
使ってモノづくりを行って
います。

竹細工は高島屋に展示販
売されるだけでなく、水・
土曜日隔週で教室を開き参

加する住民へ
の指導にも活
かしています。

真崎さんは
「竹細工を商
品にするだけ
でなく、身の
回りに生えて
いて邪魔モノ
になってい
る竹が「ひご」
になり、いろ
んなモノに変
身して活用で
きる面白さを
多くの人に知
ってもらいた
い」と話します。

廃材の利活
用は竹のみで
なく、町中に
あるいろいろな
モノにも目を
向けています。

こうした真崎
さんの「捨て
ずに活かす」
は食材にも
意識を向けて
います。

アトリエ隣り
の空き地では
二ワトリを飼
っています。

ほとんどの家
庭では捨て
られているで
あろう野菜や
果物の皮や芯
がそのエサに
なることを真
崎さんから教
わりました。

ここでは、何
度かイベン



竹細工をやりたい方は問い合わせ下さい。

080-3998-9575 (真崎)

トを開催して
いて、調理を
する時に出生
生ごみもその
場であげること
によって廃
棄ゴミが減る
ことも知りま
した。

彼女のどんな
モノも無駄に
しないように
扱う心が、身
の回りの人々
にも少なから
ず影響を与え
ているのでは
ないでしょうか。

元々あるモノ
や知恵や技術
を持つている
人に目を向け
て、一緒に協
力しながらそ
の良さが現代
の人にも伝わ
るようにアレ
ンジしています。

あとがき

10月6日、全町一斉防
災訓練が行われました。
24年前の鳥取西部地震を
思い出された方も多いこ
とでしょう。

私の家も全壊被害に遭
い西部地震は忘れられま
せん。町の助成を頂き取
壊し寸前の家を修復した
のが今の住いんです。

「災害は忘れた頃にやっ
てくる」は昔で、今は
次々に襲いかかる時代に
なってきました。我が町
も線状降水帯の豪雨など
が心配されます。

確かな情報と、早めの
避難が家族や自分の命を
守ります。皆様の行動
で、安心、安全な町づく
りを目指しましょう。

(坪倉 敏 記)

議会広報常任委員会

委員長 坪倉 敏

副委員長 小林 良泰

委員 松本 利秋

委員 金川 守仁

委員 梅林 智子

委員 小河 久人

